

# 京都学生ボッチャ交流大会 2024 実施要項

## 1 目的

- (1) 障害の有無等に関わらず誰もが参加・競技できるボッチャの魅力自ら体験するとともに大会に参加した仲間との交流を図り、パラスポーツや生涯スポーツへの意識を高める機会とする。
- (2) 大会を通じて審判員の技術力の向上、指導者の指導力向上の場とする。

2 名称 京都学生ボッチャ交流大会 2024

3 日時 2024（令和6）年7月13日（土） 10:00～16:00  
受付 9:30～ 開会式 10:00～ 試合開始 10:10～ 閉会・表彰式 15:30～  
\*午後の始めに今年も「交流プログラム」を実施します。

4 会場 京都市障害者スポーツセンター 京都市左京区高野玉岡町5

5 主催 京都学生ボッチャ交流大会 2024 実行委員会  
一般社団法人 京都障害者スポーツ振興会  
公益財団法人 京都市障害者スポーツ協会

6 後援 京都府 京都市 京都府教育委員会 京都市教育委員会

7 主管 京都ボッチャ協会

8 協賛 トヨタカローラ京都株式会社

## 9 参加資格

- ① 京都府内にある学校に在籍する児童生徒学生であること（支援学校を含む、小学生から大学・専門学校生まで）\*近隣府県の学校も募集チーム数内で若干数受け入れる。
- ② ボッチャ競技を十分に理解していること
- ③ 同一学校原則2チームまでとする。（支援学校については学部ごとに1チームとする）

10 参加費 選手一人につき500円

11 申込方法 申込用紙をHPからダウンロードし、参加申込用紙に必要事項を記入し、下記申込先アドレスにメールで提出してください。

<申込先アドレス> kyoto@spo-shin.net

12 申込締切 2024年6月28日（金）必着

\*締め切りを過ぎてからの申込みは、一切受け付けませんのでご注意ください。

### 13 募集チーム数

募集チーム数は、24チームとする。24チームを超えた場合は、抽選とする。

- 14 競技方法 団体戦（1チーム：監督・コーチ1名、選手3名+控え選手2名まで）  
前半：予選リーグ  
後半：各プール1・2位による決勝トーナメント戦、3・4位による交流戦を行う。

- 15 競技規則 一般社団法人日本ボッチャ協会競技規則（2021-2024 v.2.1）および、大会申し合わせ事項に則る。

### 16 誓約項目（下記の事項を承諾の上、申込をお願いします）

- （1）主催者において傷害保険に一括加入します。保険の適用外は自己負担となりますことを予めご了承ください。
- （2）競技中の事故については、応急処置のみ主催者において行いますが、その後の責任については主催者では一切責任を負いません。
- （3）貴重品等については、各自の責任において保管してください。盗難・紛失等の責任については主催者では一切責任を負いません。
- （4）参加申込後の選手の変更は認めません。
- （5）大会出場中の映像・写真・記事等のテレビ・新聞・雑誌・インターネット等への掲載権は、主催者に帰属します。

### 17 新型コロナウイルス感染予防について

- （1）基本的な感染予防策を実施します。
  - ・着用が効果的な場面でのマスクの着用
  - ・手洗い等の手指衛生、換気
  - ・「三つの密」の回避、人と人との距離の確保
- （2）次の方は参加を見合わせてください。
  - ・平熱を超える発熱がある方
  - ・咳、倦怠感、臭覚や味覚の異常があるなど体調が良くない方
- （3）本大会は重症化リスクの高い方が参加されていることから、参加者には新型コロナウイルス等感染症の感染防止対策に各自で注意していただきますようお願いします。

### 18 その他（注意事項など）

- （1）会場への車の乗り入れはできません。公共交通機関でお越しください。
- （2）参加チームの決定は、7月1日(月)に振興会HPに公開し、代表者へもご連絡します。
- （3）大会についてのお問い合わせは下記へご連絡ください。

一般社団法人 京都障害者スポーツ振興会事務局（中村・井川）

〒606-8106 京都市左京区高野玉岡町5 京都市障害者スポーツセンター内

電話 075-712-7010

F A X 075-712-7015

E-mail [kyoto@spo-shin.net](mailto:kyoto@spo-shin.net)

ホームページ <http://www.spo-shin.net>

# 大会申し合わせ事項

## (1) 全体ルール

- ア. 基本的なルールは、「(一社) 日本ボッチャ協会競技規則 2021-2024 v.2.1」に則る。
- イ. 大会は予選リーグを行った後に各プール1・2位による決勝トーナメント戦を行う。
- ウ. 試合前のウォームアップは1分間、または全員が投げ終わるまでとする。
- エ. 1ゲーム2エンドで行い、1エンドの持ち時間は3分とする。
- オ. 反則については、基本的には取らないが、以下の行為について、審判から注意を促されても繰り返す場合には、ルールに則った反則を取る。

### 【注意の対象行為】

- ・スローイングライン、スローイングボックスの線を踏んで投球する。
- ・自分の持ち時間以外にボールを投げたり投球準備をしたりする。
- ・コーチあるいは控え選手が試合中に選手に助言をする。

## (2) 予選リーグ

予選リーグは、4チームの総当たり戦を行う。リーグの順位決定方法は、①勝ち数②直接対決の勝者③得失点差の多いチーム④総得点の多いチームとする。それでも決まらない場合は、各チーム代表者による1球のみのタイブレーク（ファイナルショット）により決定する。

## (3) 決勝トーナメント戦と順位決定戦（交流戦）

各予選リーグで決定した1・2位は決勝トーナメントを、3・4位は交流戦を行う。

\*同点の場合は、1球のみのタイブレーク（ファイナルショット）により勝利チームを決定する。

## (4) 表彰

1～3位のチームに賞状を授与する。